

まちづくり交付金 事後評価シート

加納地区

平成22年3月

岐阜県岐阜市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	加納地区			面積	141 ha			
交付期間	H17 ~ H21	事後評価実施時期	H21	交付対象事業費	631.1 百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【地域生活基盤施設】情報板(岐阜駅柳津線ほか) 【高質空間形成施設】中山道修景									
		提案事業	【地域創造支援事業】加納城跡利活用まちづくり発掘調査、旧加納町役場利活用調査									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	-									
	新たに追加した事業	基幹事業	【道路】加納栄町通6丁目加納桜田町2丁目線、加納新本町3丁目加納寿町4丁目線ほか2路線		住民の早期安全対策要望により事業を追加、賑わいのまちづくりのため事業を追加		なし					
		提案事業	【地域生活基盤施設】岐阜駅東自転車駐車場									
	交付期間の変更	当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
変更		-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	歩行者通行量	人/日	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	あり なし	集客施設の整備は当初の計画通りに進まなかったが、道路の改良や高質空間化等の安全で個性的なまちづくり・景観づくりにより、歩行者通行量が増加に転じた。目標値には若干届かなかった。	H22年7月	
				6,830	H14	7,200	H21	6,342	6,934			
指標2	地区別居住人口	人	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	あり なし	特に加納小学校区において長期的に人口・世帯数が減少を続けている。少子高齢化社会に対応した基盤整備を進めたことで、地区人口・世帯数の減少に歯止めはかかりつつあるが、増加に転じるほどの効果は発現しなかった。	H22年7月		
			16,779	H15	17,000	H21	16,257	15,549				
指標3	地区別世帯数	世帯	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	あり なし	H22年7月			
			6,456	H15	7,000	H21	6,492	6,422				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	加納まちづくり会イベント開催回数	回/年	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	1	まちづくりに対する意識の高い団体(加納まちづくり会)がある地区で、地域固有の歴史資産を活用した事業を実施したことにより、事業をテーマにした自主的なまちづくり活動・イベントが活発に行われ、目標とした交流人口の増加やコミュニティの再生が実現した。	H22年7月	
				3	H16	-	6	○				
その他の数値指標2	地区内祭り等開催件数	件/年	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	1	事業期間内に始まった「加納の日」は、各事業をうまく活用しながら展開していることが毎年の継続につながり、地域に定着した。	H22年7月		
			8	H16	-	10	○					
その他の数値指標3	コミュニティバス利用者数	人/月	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	1	バス停周辺の基盤整備による歩行者安全度・利便性の向上により、コミュニティバス利用者の安全性が確保された。その上で、加納地区コミュニティバス等運営協議会が中心となって、イベントの際のコミュニティバスでの来場を呼びかけるなど、コミュニティバスの利用促進に取り組み、その結果、利用者の増加となった。	H22年7月		
			3,949	H18	-	7,299	○					
4)定性的な効果発現状況	・加納まちづくり会が自らイベントを企画・実行しており、イベントの内容についても、毎年何らかの新しい企画を起こしている。 ・他地区と比較して事業計画段階での住民参加が多数得られたことで、各事業において地元の意見がより多く反映されるとともに、地域内交流やコミュニティの育成が促進された。 ・まちづくり交付金事業とコミュニティバスの運行の相乗効果により、まちの賑わいが創出された。 ・中山道について視認性が高くなり、来訪者に対して案内がしやすくなった。地元住民も中山道について再認識し、歴史や文化の継承のきっかけにもなるなど、地域の歴史に関する意識も高まった。 ・加納城跡の発掘において、大手枳形全体の構造が明らかになるなど多くの発見があった。											
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容			実施状況			今後の対応方針等				
		【H19年度モニタリング】 ・事業進捗状況の確認、指標の計測手法、達成見込み等の確認、指標と事業の関係性(貢献度)の確認、指標達成に向けての今後の対応策の検討			都市再生整備計画に記載し、実施できた			他の予定地区において中間時点でモニタリングを実施する。				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
	住民参加プロセス	【幅広い市民参加】 ・発掘現場見学会、発掘品展示会 ・市民参加ワークショップ(加納まちづくり会) ・発掘調査を地元小中高校教育プログラムに組入れたまちづくりイベント事業			都市再生整備計画に記載し、実施できた			・今後も地域の中・高校の歴史学習の継続に努める。 ・当事業への住民参加をきっかけとした地域の歴史文化資産を活かしたまちづくりへの気運を、地元の活動を支援していくことにより、今後も維持・向上させていく。				
		【計画への加納まちづくり会を中心とした住民参加】 ・まちづくり活動団体支援事業(関連事業:平成17～21年度)により活動支援、岐阜市都市景観条例に基づく都市景観形成市民団体に平成17年5月10日認定			都市再生整備計画に記載し、実施できた							
		・中山道ワークショップ、タウンウォッチング、意見募集、歴史的案内板設置説明会、道路修景先進地視察			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
		・旧加納町役場見学会、活用アイデア募集、演奏会			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	加納まちづくり会 【構成員】加納地区住民及び賛同者約110名 【活動内容】良好な都市景観形成、加納城跡・中山道等の歴史的資産の保全活用			都市再生整備計画に記載し、実施できた			・地域の固有性に着目した地元活動を支援し、交流人口の増加や、歴史への関心の高まりにつなげていく。					
	【取り組み】まちづくり活動団体支援事業、岐阜市都市景観条例に基づく都市景観形成市民団体に平成17年5月10日認定、平成20年度岐阜市都市景観賞「まちづくり活動部門」都市景観奨励賞、受賞(平成21年2月2日)、平成21年度美しいひだ・みの景観づくり賞 優秀賞			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

加納地区（岐阜県岐阜市）まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
■歴史的建造物等の社会資産を有効に活用した集客拠点を整備することにより、交流人口の増加と賑わいの増進を図って都市の再生を推進する。 ■歩行者優先の都心回遊路の整備等により、都心集約型の市街地環境を形成してコミュニティの再生を図る。 ■地域固有の歴史・文化・自然を生かした市民協働型のまちづくりにより、安全で快適な市街地環境や魅力ある個性的な景観を創出する。	歩行者通行量	単位：人／日	6,830	H14	7,200	H21	6,934	H21
	地区別居住人口	単位：人	16,779	H15	17,000	H21	15,549	H21
	地区別世帯数	単位：世帯	6,456	H15	7,000	H21	6,422	H21
	加納まちづくりイベント開催回数	単位：回/年	3	H16	-	-	6	H21
	地区内祭り等開催件数	単位：件/年	8	H16	-	-	10	H21
	コミュニティバス利用者数	単位：人/月	3,949	H18	-	-	7,299	H21



● 岐阜駅東自転車駐車場



● 加納新本町3丁目加納寿町4丁目線ほか2路線



● 加納栄町通6丁目加納桜田町2丁目線



加納地区（約141ha）

■地域生活基盤施設
岐阜駅東自転車駐車場
H18

■高質空間形成施設
中山道
H19～H21

■地域生活基盤施設
岐阜駅柳津線ほか
H17～H21

□事業活用調査
事業分析計画
H21

□地域創造支援事業
旧加納町役場利活用調査
H18

□地域創造支援事業
加納城跡
H17～H21

関連事業
あんしん歩行エリア整備事業
H17～H20

■道路
加納栄町通6丁目
加納桜田町2丁目線
H18～H21

■道路
加納新本町3丁目
加納寿町4丁目線ほか2路線
H20～H21

凡例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

関連事業
まちづくり活動団体支援事業



● 中山道カラー舗装



● 情報板設置



● 加納城跡地利活用まちづくり発掘調査

まちの課題の変化	○ 情報案内板、岐阜駅東自転車駐車場など、歩行者優先の回遊ネットワークを形成する基盤の整備が進んだ。 ○ 加納まちづくり会を中心とした地域住民との協働により、ハード・ソフト両面で地域固有の歴史を活かしたまちづくりが実現した。 ○ 安全安心な道路整備、歴史を活かした事業によりまちの魅力が向上し、交流人口の増加が顕在化した。 ○ 旧加納町役場活用事業が未完了であること、加納城跡発掘調査結果の活用方策の検討が必要であると、居住人口の増加、の3点が課題として残った。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	○ 地域固有の歴史資産の活用の一環として、加納城跡の発掘の継続を検討するとともに、これまでの発掘成果の活用方策の検討や、整備された中山道を活用した行事を継続して実施する。 ○ 旧加納町役場について、今後の扱いを検討する。 ○ 課題に掲げた「居住人口増加」について、土地建物利用意向調査などにより、効果的な住宅供給施策を検討する。 ○ 少子高齢化社会に必要な移動手段の確保と、さらなる賑わいの増進のため、コミュニティバスの運行を継続する。

補足資料

1. 実施した事業
- 2-1. 数値指標による目標の達成度
- 2-2. 数値指標以外に現れた定性的な効果
3. 事業への住民参加について
4. 今後のまちづくりの方策について
5. 事後評価委員会で頂いた意見について
6. フォローアップについて

1. 実施した事業(基幹事業と提案事業)

まちづくり交付金を活用し、以下の基幹事業(道路・公園・区画整理などの事業)と提案事業(市町村の提案に基づく事業)を実施しました。

種別	事業		事業名・箇所名	交付対象 事業費 (百万円)	事業担当課
基幹事業	道路		加納栄町通6丁目加納桜田町2丁目線	74	道路建設課
			加納新本町3丁目加納寿町4丁目ほか2路線	42	道路維持課
	地域生活基盤施設		岐阜駅東自転車駐車場	160	基盤整備政策課
			情報板(岐阜駅柳津線ほか)	41	まちづくり景観課
	高質空間形成施設		中山道修景	165	道路建設課
	小 計			482	
提案事業	地域創造支援事業	加納城跡利活用まちづくり発掘調査	加納城跡	75	社会教育課
		旧加納町役場利活用調査	旧加納町役場	2	まちづくり景観課
	事業活用調査	事業分析調査	加納地区	4	拠点整備課
	小 計			81	
総事業費				563	
交付限度の額（割合 約40％）				225	

その他関連事業: 2 事業

主な事業(基幹事業)

道路事業: 加納栄町通6丁目加納桜田町2丁目線

加納西小学校南側道路において、歩道の拡幅や路肩のカラー舗装化、車除けの設置等により、歩行者、主に通学児童に安全なみちづくりを行いました。



道路事業: 加納新本町3丁目加納寿町4丁目線、加納神明町2丁目加納桜田町1丁目線
加納永井町3丁目加納桜田町3丁目線

交差点周辺の舗装と側溝を整備しました。交差点や歩行者通行部のカラー化により、安全なみちになりました。



高質空間形成施設: 中山道

カラー舗装や、側溝ふたのオリジナルデザイン化、街頭の整備などを行い、中山道・加納宿を、わかりやすく楽しく巡ることができるようにしました。



事業前



事業後

地域生活基盤施設: 岐阜駅東自転車駐車場整備事業

従来JRの高架の北側にあった岐阜駅東1自転車駐車場を、高架直下に岐阜駅東1自転車駐車場として再整備しました。



事業前



事業後

地域生活基盤施設: 岐阜駅柳津線ほか

来訪される方々や市民の方々にとってスムーズな案内誘導・情報提供の実現と景観の向上を目的に情報板を設置しました。



事業前



事業後(歴史系サイン)



中拠点



小拠点

主な事業(提案事業)

地域創造支援事業 加納城跡まちづくり利活用発掘調査

加納城跡をまちづくりに活かすため、発掘調査を行いました。発掘期間中も地元学校の学習への活用や現場見学会を行い、まちづくりに活用しました。



発掘箇所(掘削前)



発掘箇所(調査中)



発掘現場見学会の様子

地域創造支援事業 旧加納町役場利活用調査

建築物として価値のある旧加納町役場の利活用について、建物強度の確認などを行いました。

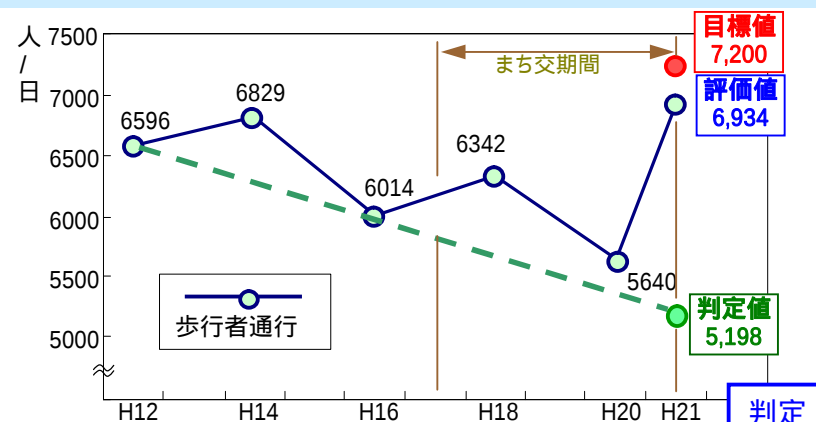


2 - 1 . 数値指標による目標の達成度

当初に設定した指標の達成度は以下の通りです。

指標1. 歩行者通行量

岐阜市歩行者通行量調査結果による加納地区内2測定地点(加納栄町通1サカエパン前、加納清野町JR岐阜駅加納口)の休日通行者数の合計値

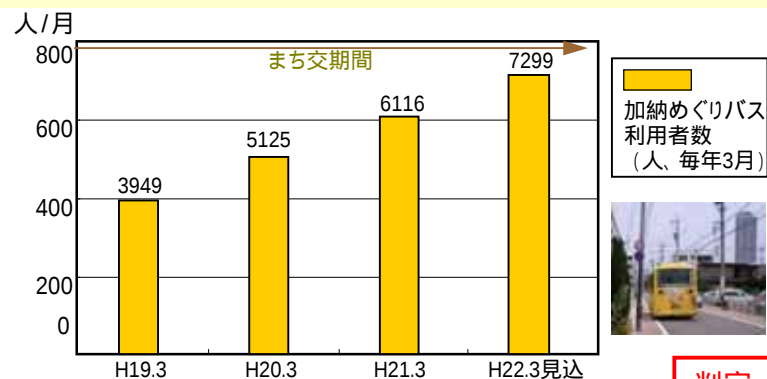


増加に転じ、従前値も上回った。目標値には若干届かなかった。

人の流れ
に関する指
標の追加

その他の指標3. コミュニティバス利用者数

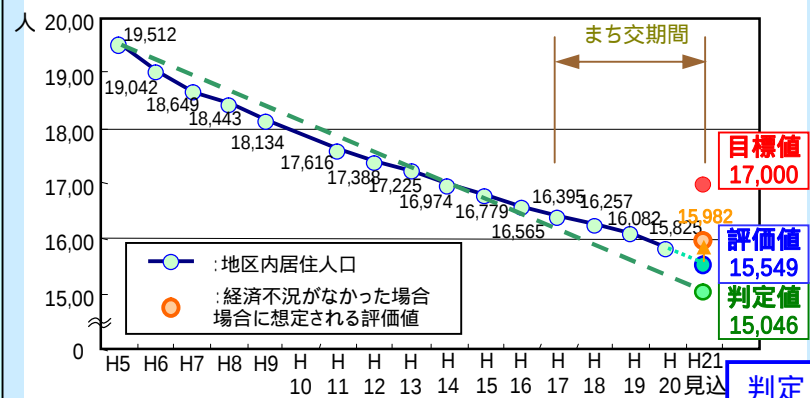
コミュニティバス地区別利用状況データのうち、加納めぐりバスの各年度3月の利用者数(運行開始は平成18年10月)



まち交事業との相乗効果で順調に増加

指標2. 地区内居住人口

住民基本台帳記載に記載されている、加納地区、加納西地区の人口の合計

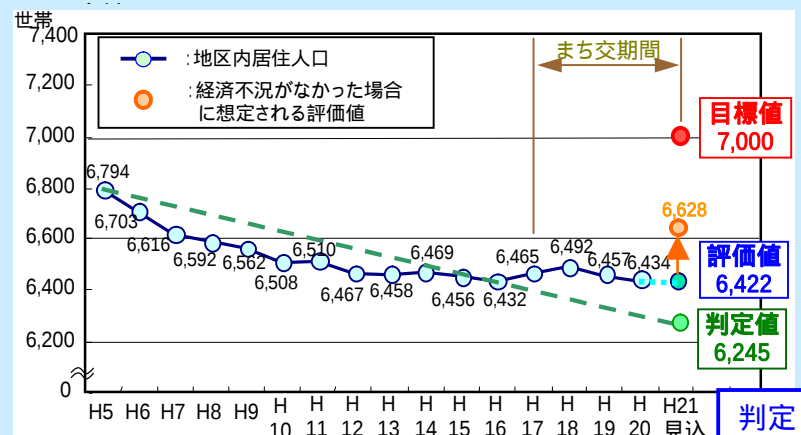


期間中にやや下げ止まり傾向に。経済不況がなければ増加も。

地区のコミュニティ、賑わいに関する指標を追加

指標3. 地区内世帯数

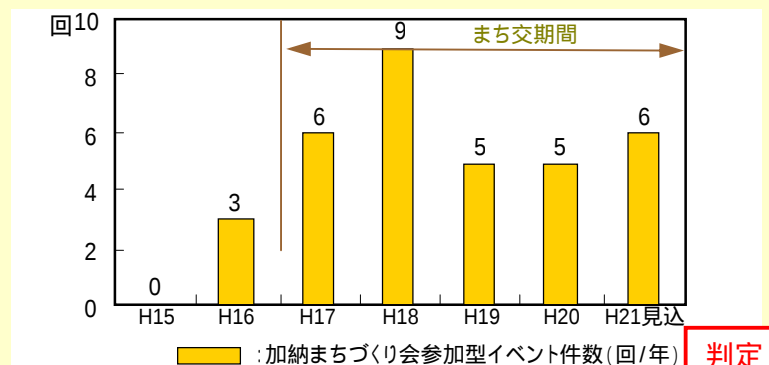
住民基本台帳記載に記載されている、加納地区、加納西地区の世帯数



期間中にやや下げ止まり傾向に。経済不況がなければ増加も。

その他の指標1. 加納まちづくり会イベント開催回数

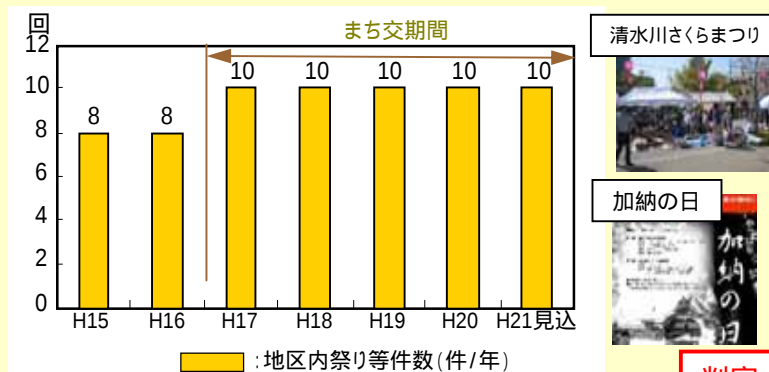
加納まちづくり会の総会(毎年5月)時に配布される活動経過報告のうち、会員・非会員問わず参加が可能なイベント件数を計上



従前から増加した後、新企画を取り入れながら件数を維持。

その他の指標2. 地区内祭り等開催回数

加納地区の紹介冊子・加納地区ホームページで紹介されている年間恒例の祭り・行事のうち、当該年度に開催されたものをカウント



新たな祭りが地区に定着した。

2-2. 数値指標以外に現れた定性的な効果

数値指標の結果(定量的な効果)以外に、以下に挙げた「定性的な効果」がありました。

- ・加納まちづくり会が自らイベントを企画・実行しており、イベントの内容についても、毎年何らかの新しい企画を起こしています。加納城跡発掘の現場見学など、まちづくり交付金事業も取り入れていただきました。
- ・他地区と比較して事業計画段階での住民参加が多数得られましたので、各事業において地元の意見がより多く反映されるとともに、地域内交流やコミュニティの育成が促進されました。
- ・まちづくり交付金事業とコミュニティバスの運行の相乗効果がありました。
- ・中山道について視認性が高くなり(どこが中山道かが分かりやすくなり)、来訪者に対して案内がしやすくなりました。
- ・地元住民も中山道について再認識し、歴史や文化の継承のきっかけにもなるなど、地域の歴史に関する意識も高まりました。
- ・加納城跡の発掘において、大手枡形全体の構造が明らかになるなど多くの発見がありました。

3. 事業への住民参加について

中山道整備にあたってのワークショップ等

ワークショップ、タウンウォッチング、意見募集、歴史的案内板設置説明会、道路修景先進地視察などを行いました。



意見の募集



ワークショップ



タウンウォッチング

旧加納町役場活用関連

地元団体による、旧加納町役場見学会、活用アイデア募集、演奏会が行われました。



発掘調査への市民参加

加納城跡の発掘にあたり、現場見学会やワークショップを実施し、多くの方に参加いただきました。また、地元小中学校の学習プログラムにも組み入れていただきました。



事業区域内では、**加納まちづくり会**が活発な活動を行っており、本ページ記載の事業をはじめとし、加納地区のまちづくり交付金事業における住民参加に大きく貢献いただいています。

加納まちづくり会

【構成員】加納地区住民及び賛同者約110名

【活動内容】

- ・良好な都市景観形成
- ・加納城跡・中山道等の歴史的資産の保全活用
- ・各種イベントの実施 など

- ・H17～21 まちづくり活動団体支援事業（関連事業：平成17～21年度）により活動支援
- ・岐阜市都市景観条例に基づく都市景観形成市民団体に認定（H17.5.10）
- ・平成20年度岐阜市都市景観賞「まちづくり活動部門 都市景観奨励賞」
- ・平成21年度 美しいひだ・みの景観づくり賞 優秀賞



広報誌の発行

4. 今後のまちづくりの方策について

都市再生整備計画に掲げた目標の達成状況から、今後のまちづくりの方策について検討しました。

都市再生整備計画の課題	達成状況		継続・改善の基本方針	想定される事業
魅力的な都心生活圏の創出による 居住人口並びに交流人口の増加と コミュニティの再生 (人口の増加・にぎわいの創出)	達成 されたこと	○加納西小南側道路において歩行者の安全度を高めるなど、少子高齢化に対応した安全な道路等の基盤整備を進めた。 ○中山道の修景、情報案内板の設置、加納城跡における発掘調査など、地域固有の歴史を活かした魅力あるまちづくりが進んだ。 ○コミュニティバスの運行が開始（H18年10月開始）されたことにより、交流人口増加が顕在化しつつある。	○少子高齢化に対応した都心生活圏の基盤整備 整備した道路、案内情報板の適切な維持管理や交通事故の予防を推進する。 また、加納めぐりバス運行を継続する。	コミュニティバス運行事業
	残された 未解決の課題	○旧加納町役場活用事業が完了していない ○加納城跡発掘調査結果の活用方策の検討 ○居住人口の増加	○地域固有の歴史を活かしたまちづくり 旧加納町役場について、今後の扱いを検討する。	歴史的建築物保全方策の検討
			○居住人口の増加関連 土地建物利用意向調査などにより、効果的な住宅供給施策を検討する。	土地建物利用意向調査
クルマ優先の郊外発展型基盤整備から都心部における歩行者優先の回遊ネットワーク整備への転換によるヒューマンスケール型まちづくりの推進 (クルマ優先社会からの転換)	達成 されたこと	○情報案内板、岐阜駅東自転車駐車場など、歩行者優先の回遊ネットワークについて基盤整備が進んだ。	○歩行者優先の回遊ネットワーク整備 整備された歩行者優先回遊路を歩行者・交流人口の増加につなげる。	まちなか歩き推進事業
	残された 未解決の課題	-	-	-
住民と行政の協働型まちづくりの推進による地域固有の自然・歴史・文化を活かした個性的な街並みの創出 (歴史的文化的まちづくり・市民協働)	達成 されたこと	○加納まちづくり会を中心とした地域住民との協働により、ハード・ソフト両面で地域固有の歴史を活かしたまちづくりを実現できた。	○地域固有の歴史を活かしたまちづくり 加納城跡の発掘の継続を検討するとともに、これまでの発掘成果の活用方策の検討や、整備された中山道を活用した行事を継続して実施する。 中山道や加納城跡などの主要な歴史的資産の間の動線を強化する。	加納城跡発掘事業、発掘成果展示会 加納城跡発掘調査結果活用方策検討 まちなか歩き推進事業
	残された 未解決の課題	-	○加納まちづくり会の活動をはじめとした、地域活動の活性化 まちづくり団体への支援を実施し、まちづくり活動と連携した取組みを継続する。	まちづくり活動団体支援事業
		-	-	-

5. 事後評価委員会で頂いた意見について

平成21年11月13日に行われた「まちづくり交付金事業 事後評価委員会」において、委員の方々から以下の意見等を頂きました。

〔成果の評価〕

□ 指標による評価

- ・当初設定した資料は、中山道の整備や発掘調査は人口増加や世帯増加に直接つながるものではない。事業と当初指標がずれている。→指標を追加し補完しました。
- ・歩行者交通量を指標とする場合、測定箇所を事業近傍箇所に絞って調査すべきではないか
- ・住民参加の実施内容が事業のプロセスのように書かれているが、都市再生整備計画の目標にも「交流を高める」「コミュニティを育成する」とあるように、交流する活動自体がまちづくりの目的ではないのか。これを計量指標として出せなかったのは残念である。
- ・中山道ふるさとまつりの充実やウォーキングイベント開催（御鯨街道ウォークなど）も見られた。

□ 数字に現せない定性的な評価について

- ・中山道のカラー舗装化・サイン整備により、中山道の位置が非常に分かりやすくなった。特に地区内住民が中山道の位置を再認識することで文化の継承のきっかけにもなるなど、住民の意識の面での、数字では表せない部分での効果が非常に大きい。
- ・発掘で成果があったのであれば、それも大きな成果である。
- ・中山道を整備したのであれば、両側の街並みも今後よくなって行くはず。

〔事業の過程について〕

- ・事業開始後であっても、指標の目標値の修正や項目の変更には柔軟に対応すべき。

〔今後のまちづくり方策について〕

- ・加納地区を「歴史まちづくり法」の重点地区に指定する動きもあったが、歴史的まちづくりについてさらに強調してはどうか。
- ・中山道と旧加納町役場、加納城跡は非常に近い位置関係にあり、面的に加納を考えた場合に、それらを接続できるものが今回のまちづくりで出来ていないのなら、今後対応すべきである。



6. フォローアップについて

この事後評価にて「見込み」とした指標は、翌年度以降に数値を計測して確定値とするようフォローアップします。

指 標	評価値	目標 達成度	判定	フォローアップ 予定時期
1. 歩行者通行量(人/日)	5,484		見込み	H22年7月
2. 地区別居住人口(人)	15,549		見込み	H22年7月
3. 地区別世帯数(世帯)	6,422		見込み	H22年7月
その他1. 加納まちづくり会イベント開催回数(回/年)	6	-	見込み	H22年7月
その他2. コミュニティバス利用者数(人/月)	7,299	-	見込み	H22年7月
その他3. 地区内の祭り等開催件数(件/年)	10	-	見込み	H22年7月